

第20回九州地区小学生ディベート大会要項

全国教室ディベート連盟九州支部

支部長 佐長 健司（佐賀大学文化教育学部教授）

九州地区の小学生を対象としたディベート大会を下記のとおり開催します。ディベートとは、聴き取りやすく理解しやすいスピーチを行い、社会の問題を解決するためにどうすべきかを討論するゲームのことです。つきましては、小学生の皆さん、コミュニケーション教育に関心のある方々に多数ご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

記

1 大会組織

主催：全国教室ディベート連盟九州支部 日本パブリック・ディベート協会

後援：佐賀県教育委員会 佐賀市教育委員会 熊本市教育委員会（申請中）

協賛：JA グループ佐賀 全教研

2 目的

ディベートについての学習成果を発表する機会となる大会を開催し、成績が優秀な個人、及びチームを表彰します。また、コミュニケーション教育に関心のある方々の情報交換の場とします。

3 日時 平成26年12月6日（土） 10:00～16:30

4 会場 佐賀県JA会館（佐賀市栄町2番1号）

※佐賀駅より徒歩3分 自家用車で来られる方は、近くの駐車場をご利用ください。

5 対象 小学校中学年（3，4年生）及び高学年（5，6年生）の児童（引率者を必要とする。）

6 日程

10:00	10:20	12:00	12:50	15:20	15:30	16:10	16:30
受付	開 会	○モデルディベート ○準備	休 憩	○ディベート（予選） 中学年の部 高学年の部	成績 発表	○ディベート 決勝試合	表彰 閉会

7 参加について

(1) **事前の準備は不要です。当日、大会スタッフの支援によって準備を行いますので、初めての児童でも参加が可能です。筆記用具、昼食だけをご持参ください。**

(2) 討論のテーマとなる問いは当日発表いたします。内容は、食生活、あるいは農業に関するものとなります。

(3) 参加及び参観ともに無料です。

(4) 申し込み・問い合わせ先

別紙「参加申込書」に必要事項を記入し、11月21日（金）までにご送付ください。メールでも結構です。

〒840-0202 佐賀市大和町大字久池井1777-1
佐賀市立春日北小学校内 田本 正一（たもと しょういち）
Tel 0952-62-5988
Mail air-station.sf@b2.bunbun.ne.jp

九州地区小学生パブリック・ディベート・ルール

1 目的

パブリック・ディベートとは、聴き取りやすく、理解しやすいスピーチを行い、社会の問題を解決することについて、討論するゲームのことで、このようなディベートを行うことによって、社会の一員として、よりよい社会について考察を深めることを目的とします。

2 問い

本大会は、食生活あるいは農業に関することで、「みんなで考えなければならない問題」を問いとして示します。その問いに答えるように意見を述べ、討論します。問いは、大会当日に発表します。

3 チーム

3人から6人でチームをつくり、意見発表、意見交換、意見の再提案のパートに分かれ試合を行います。1～2人での参加の場合は当日他チームとの合同になる場合があります。

人数が多い場合は、意見交換、修正意見の発表を2人とします。また、参加人数が多数の場合は、チーム数調整にご協力願う場合もあります。

4 フォーマット

ディベートの流れは次のとおりです。なお、内容を充実させるために、審判による解説が行われます。

- | | | |
|---|---------------------|-----|
| ① | 先攻チームによる意見発表 | 3分間 |
| ② | 後攻チームによる意見発表 | 3分間 |
| | 審判による解説 | 2分間 |
| | 作戦タイム | 3分間 |
| ③ | 先攻チームの意見発表についての意見交換 | 3分間 |
| ④ | 後攻チームの意見発表についての意見交換 | 3分間 |
| | 審判による解説 | 2分間 |
| | 作戦タイム | 3分間 |
| ⑤ | 後攻チームによる修正意見の発表 | 2分間 |
| ⑥ | 先攻チームによる修正意見の発表 | 2分間 |
| | 合計 | 26分 |

5 進行

司会者の進行によって、発言を行い、決められた時間内に述べます。

6 意見発表

(1) 先行チーム、後攻チームのいずれも、示された問いに答えるように、食生活や農業のあり方について、大切だと思うこと、及び改善すべきことをまとめて、意見として発表します。

(2) 次の順序で述べます。

- ① 意見発表のラベル
 - ② 意見発表が正しいことだと示す根拠
 - ③ 意見発表が正しいことだという結論
- ※「ラベル」とは、意見発表の内容をまとめた短い言葉（見出し）のことです。
※「根拠」とは、誰もが経験するような事実や筋道を立てた説明のことです。

7 意見交換について

- (1) 先行チームの意見発表についての意見交換では、後攻チームが先行チームに質問をし、その応答に対応して、先行チームの意見改善のための意見を述べます。後攻チームの意見発表についての意見交換では、先行チームが後攻チームに質問をし、その応答に対して、後攻チームの意見改善のための意見を述べます。
- (2) 次の順序で述べます。
 - ① 相手の意見発表についての、いくつかの質問
 - ② 相手の意見発表には、改善が必要であること
 - ③ 相手の意見発表には、改善が必要となる根拠
 - ④ 相手の意見発表には修正する必要がある、という結論

8 修正意見の発表について

- (1) 先行チームは、後攻チームとの意見交換を踏まえて修正した意見を発表します。後攻チームは、先行チームとの意見交換を踏まえて修正した意見を発表します。
- (2) 次の順序で述べます。
 - ① 相手との意見交換において重要だと考えた内容
 - ② 相手との意見交換において修正すべきと考えた内容
 - ③ 相手との意見交換によって修正した意見の発表
 - ④ 相手チーム及び審判、聴衆に対するお礼

9 コミュニケーションの責任

- (1) 発言の速さ、声の大きさや発音に十分注意して、わかりやすく述べます。
- (2) ナンバリング、ラベリングをしながら意見発表や質問を述べなければなりません。
「ナンバリング」とは、述べる内容の数と順序を示すことです。「○点述べます。第1に～。第2に～」という具合に述べることです。「ラベリング」とは、述べる内容に見出しをつけることです。
- (3) 難しい言葉は、わかりやすい言葉に置き換えるようにします。あるいは、ていねいに説明をして使うようにします。

10 試合の評価と順位決定方法について

- (1) 評価の判定は、複数の審判が中立の立場から行います。
- (2) 評価の判定は、試合評価とチーム評価の2つによって行われます。
試合評価とは、両チームが協力してどの程度議論を深めたかどうかを評価します。チーム評価とは、討論においてどちらのチームが優位であったかを評価します。
- (3) 本大会の順位は、試合評価とチーム評価の2つの評価点数を合計した成績得点によって順位を決定します。順位決定については、成績得点によって決定します。成績得点と同点の場合は試合評価の合計点数によって決定します。さらに同点の場合は、勝敗数で決定します。さらに、それも同じ場合は、抽選で決定します。また、予選試合の中で最も優れた試合をベストゲームとします。

11 その他

- (1) ディベートでは、示された問いとは関係のない意見発表はできません。
- (2) 試合中は、作戦タイムにおいてチーム内で相談することができます。ただし、発言中の選手に対して、他の選手が口頭でアドバイスをすることはできません。
- (3) 試合中、選手は選手以外からのアドバイスを受けることはできません。

